

GREG LINDSAY

- Expert on urbanisation, technology and transportation

LONDON
SPEAKER
BUREAU



Topics

- Future
- Government
- Politics
- Technology

Greg Lindsayは、ジャーナリスト、アーバンリスト、未来派、そして講演者です。彼は、Fast Companyの寄稿者であり、次の著書Engineering Serendipityの著者でありAerotropolisの共著者でもあります。彼はまた、コネクテッドモビリティイニシアチブを率いるニューシティーズ財団のシニアフェローでもあります。ニューヨーク大学のルーディン交通政策管理センターの客員研究員であるアトランティックカウンシルのストラテジックフォーサイトイニシアチブの非居住シニアフェローでもあります。世界政策研究所のシニアフェロー。

彼の執筆はニューヨークタイムズ、ウォールストリートジャーナル、ブルームバーグビジネスウィーク、ハーバードビジネスレビュー、ファイナンシャルタイムズ、マッキンゼイ四半期Inc.大西洋、クォーツ、ニューリパブリック、エコノミストグループ、世界経済フォーラム、ヨーロッパの管理ジャーナル、世界政策ジャーナル、次の都市、時間、有線、ニューヨーク、スレート、マリークレールイタリア、トラベル+レジャCondé Nast Travellerおよび出発。以前はFortuneの寄稿者でありAdvertising Ageの編集長でもありました。

グレッグは、グローバリゼーション、イノベーション、そして都市の将来について頻繁に話します。ごく最近では、アジア経営研究所OECDMITメディアラボ、マイクロソフトリサーチ、およびマッキンゼーで話します。彼は外交問題評議会のメンバーであり、世界都市サミットの若手リーダーでもあります Studio Gang Architectsとの郊外の将来に関する作品は、2012年にMoMAで展示されました。またWork Futures Instituteのシニアフェローでもあり、オフィスと街、クラウド、ビッグデータの交差点を探っています。そして彼の次の本、Engineering Serendipityはナイト財団の寛大な支援で可能になりました。

ニューヨークタイムズ、ワシントンポスト、ウォールストリートジャーナル、ガーディアンUSAトゥデイCNNNPRそしてBBCによって、旅行、テクノロジー、アーバニズムの将来についての専門家として引用されています。彼は、IntelEricssonSamsungAudiChryslerAndré Balazs PropertiesEmaarおよびExpo 2020などの組織に助言しています。

彼はジャーナリズムの学位を取得してイリノイ大学を卒業しました。グレッグは二度の危険です！チャンピオン（そしてIBMのワトソンに対して無敗になる唯一の人間）。